



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社Waqoo 上場取引所 東
 コード番号 4937 URL https://waqoo.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 裕基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 早川 明宏 (TEL) 03-6805-4600
 定時株主総会開催予定日 2021年12月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の業績 (2020年10月1日~2021年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	4,684	4.0	149	39.1	140	29.4	116	17.7
2020年9月期	4,504	33.0	107	—	108	—	98	—
	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年9月期	41.61		40.90					
2020年9月期	36.45		—					

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 ー百万円 2020年9月期 ー百万円

(注) 1. 2020年6月25日付で普通株式1株につき5株の割合で、また2021年3月12日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 2020年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	1,901	800	42.1	266.72
2020年9月期	1,178	161	13.7	59.61

(参考) 自己資本 2021年9月期 800百万円 2020年9月期 161百万円

(注) 2020年6月25日付で普通株式1株につき5株の割合で、また2021年3月12日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	△128	△6	703	1,042
2020年9月期	88	2	△15	474

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,521	△38.2	△114	—	△117	—	△118	—	円 銭 △39.60
通期	3,283	△29.9	150	1.0	146	3.9	120	3.9	40.21

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	3,001,178 株	2020年9月期	2,706,350 株
② 期末自己株式数	2021年9月期	— 株	2020年9月期	— 株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	2,790,418 株	2020年9月期	2,706,350 株

(注) 2020年6月25日付で普通株式1株につき5株の割合で、また2021年3月12日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済み株式数を記載しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(持分法損益等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社の主要事業である物販系分野におけるBtoC-EC市場規模におきましては、2020年に12兆2,333億円で前年比21.7%増となっており、そのうち化粧品、医薬品のEC市場規模は、7,787億円で前年比17.8%増と伸長しております(経済産業省2021年7月30日公表「電子商取引に関する市場調査」より)。

このような状況の中、当事業年度におきましては、広告宣伝費の投下による新規顧客獲得、新ブランドの立ち上げやブランディング広告による認知度向上を図りました。さらに各種CRM施策の実施、卸売販売は引き続き伸長したことから、商品の出荷本数が増加いたしました。なお、コロナ禍においても当社の商流(仕入や物流)や顧客動向に大きな変化は生じていないことから、新型コロナウイルス感染症の影響は当事業年度において軽微であります。

以上の結果、当事業年度の売上高は4,684,258千円(前事業年度比4.0%増加)、営業利益149,296千円(前事業年度比39.1%増加)、経常利益140,585千円(前事業年度比29.4%増加)、当期純利益は116,116千円(前事業年度比17.7%増加)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は1,874,702千円となり、前事業年度に比べ722,955千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加568,627千円、売掛金の減少358千円、商品の増加68,820千円、前払費用の増加65,253千円によるものであります。

当事業年度末における固定資産は、26,554千円となり、前事業年度に比べ456千円減少いたしました。これは主に、工具、器具及び備品の減少484千円、ソフトウェアの増加5,194千円、繰延税金資産の減少3,801千円によるものであります。

(負債)

当事業年度末における流動負債は711,739千円となり、前事業年度に比べ53,956千円の減少となりました。これは主に、買掛金の減少40,032千円、短期借入金の減少27,490千円、1年内返済予定の長期借入金の増加79,994千円、未払金の減少51,891千円、未払消費税等の減少25,378千円によるものであります。

当事業年度末における固定負債は388,974千円となり、前事業年度に比べ137,238千円の増加となりました。これは、長期借入金の増加137,238千円によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は800,544千円となり、前事業年度に比べ639,217千円の増加となりました。これは主に、有償第三者割当により資本金と資本剰余金がそれぞれ261,521千円ずつ増加、当期純利益116,116千円を計上したことにより、利益剰余金が116,116千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より568,627千円増加し、1,042,693千円となりました。当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は128,483千円となりました(前事業年度は88,365千円の資金増加)。これは主に、税引前当期純利益140,585千円の計上、たな卸資産の増加91,328千円、仕入債務の減少40,032千円、未払金の減少51,891千円、未払・未収消費税等の増減25,378千円、前払費用の増加65,253千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は6,377千円となりました(前事業年度は2,314千円の資金増加)。これは、無形固定資産の取得による支出9,577千円、償却債権の回収による収入3,200千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は703,488千円となりました(前事業年度は15,814千円の資金減少)。これは主に、長期借入れによる収入400,000千円、長期借入金の返済による支出182,768千円、株式の発行による収入523,043千円によるものです。

(4) 今後の見通し

①D2C事業の強化

D2C事業の強化を図るため、化粧品の企画・販売に注力してまいります。また、CRMによる定期的な顧客とのコミュニケーションを通じた既存顧客の囲い込み及び顧客ニーズに応える商品の企画・開発、各メディアにおけるマーケティングによる認知度の向上とブランディングの強化推進を行うことで、更なる事業拡大を図ってまいります。

②新商品の展開について

主力のスキンケア商品に加えて、継続的に新商品を投入することで、新規顧客の獲得及び既存顧客のクロスセル向上に繋げてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準を適用することとしております。

なお、国際会計基準の適用に関しましては今後の国内外の諸情勢を鑑みて、検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	474,065	1,042,693
売掛金	358,667	358,308
商品	179,665	248,486
原材料及び貯蔵品	24,059	46,566
前渡金	175	—
前払費用	113,360	178,614
その他	1,752	33
流動資産合計	1,151,747	1,874,702
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	8,753	8,753
減価償却累計額	△7,489	△7,973
工具、器具及び備品(純額)	1,264	779
有形固定資産合計	1,264	779
無形固定資産		
ソフトウェア	14,695	19,889
ソフトウェア仮勘定	1,140	—
無形固定資産合計	15,835	19,889
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,801	—
その他	6,110	5,885
投資その他の資産合計	9,911	5,885
固定資産合計	27,011	26,554
資産合計	1,178,758	1,901,257

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,241	47,208
短期借入金	207,490	180,000
1年内返済予定の長期借入金	128,336	208,330
未払金	225,043	173,151
未払費用	31,878	41,479
未払法人税等	19,395	21,377
未払消費税等	58,785	33,407
返品調整引当金	—	1,860
預り金	7,526	4,924
流動負債合計	765,695	711,739
固定負債		
長期借入金	251,736	388,974
固定負債合計	251,736	388,974
負債合計	1,017,431	1,100,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	309,292	570,814
資本剰余金		
資本準備金	301,292	562,814
資本剰余金合計	301,292	562,814
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△449,258	△333,141
利益剰余金合計	△449,258	△333,141
株主資本合計	161,326	800,486
新株予約権	—	57
純資産合計	161,326	800,544
負債純資産合計	1,178,758	1,901,257

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,504,914	4,684,258
売上原価		
商品期首たな卸高	101,650	184,246
当期商品仕入高	832,327	988,837
合計	933,978	1,173,084
商品期末たな卸高	184,246	270,427
売上原価合計	749,732	902,656
売上総利益	3,755,181	3,781,601
返品調整引当金繰入額	—	1,860
差引売上総利益	3,755,181	3,779,741
販売費及び一般管理費	3,647,853	3,630,445
営業利益	107,328	149,296
営業外収益		
受取利息	1,971	1,506
償却債権取立益	—	3,200
事業譲渡益	3,451	—
雑収入	447	707
営業外収益合計	5,870	5,414
営業外費用		
支払利息	3,592	4,307
株式交付費	—	1,534
株式公開費用	—	7,832
為替差損	350	69
固定資産除却損	481	—
雑損失	166	380
営業外費用合計	4,591	14,124
経常利益	108,607	140,585
税引前当期純利益	108,607	140,585
法人税、住民税及び事業税	13,771	20,667
法人税等調整額	△3,801	3,801
法人税等合計	9,969	24,468
当期純利益	98,637	116,116

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	309,292	301,292	301,292	△547,896	△547,896	62,688	—	62,688
当期変動額								
新株の発行						—		—
当期純利益				98,637	98,637	98,637		98,637
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						—		—
当期変動額合計				98,637	98,637	98,637	—	98,637
当期末残高	309,292	301,292	301,292	△449,258	△449,258	161,326	—	161,326

当事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	309,292	301,292	301,292	△449,258	△449,258	161,326	—	161,326
当期変動額								
新株の発行	261,521	261,521	261,521			523,043		523,043
当期純利益				116,116	116,116	116,116		116,116
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						—	57	57
当期変動額合計	261,521	261,521	261,521	116,116	116,116	639,160	57	639,217
当期末残高	570,814	562,814	562,814	△333,141	△333,141	800,486	57	800,544

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	108,607	140,585
減価償却費	4,931	6,007
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	—	1,860
受取利息及び受取配当金	△1,971	△1,506
償却債権取立益	—	△3,200
事業譲渡損益 (△は益)	△3,451	—
支払利息	3,592	4,307
株式交付費	—	1,534
株式公開費用	—	7,832
固定資産除却損	481	—
売上債権の増減額 (△は増加)	9,945	358
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△100,260	△91,328
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,613	△40,032
前払費用の増減額 (△は増加)	△79,809	△65,253
未払金の増減額 (△は減少)	△5,714	△51,891
未払費用の増減額 (△は減少)	△445	9,600
未払法人税等の増減額 (△は減少)	3,292	△95
未払又は未収消費税等の増減額 (△は減少)	119,845	△25,378
その他	7,413	△493
小計	91,070	△107,092
利息及び配当金の受取額	1,971	1,506
利息の支払額	△3,592	△4,307
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,083	△18,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,365	△128,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
償却債権の回収による収入	—	3,200
無形固定資産の取得による支出	△1,140	△9,577
事業譲渡による収入	3,454	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,314	△6,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,490	△27,490
長期借入れによる収入	100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△123,304	△182,768
株式の発行による収入	—	523,043
株式の発行による支出	—	△1,534
新株予約権の発行による収入	—	70
株式公開費用による支出	—	△7,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,814	703,488
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	74,866	568,627
現金及び現金同等物の期首残高	399,199	474,065
現金及び現金同等物の期末残高	474,065	1,042,693

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社はD2C事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	59.61円	266.72円
1株当たり当期純利益	36.45円	41.61円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	－円	40.90円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益について、前事業年度は、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

2. 当社は、2020年6月25日付けで普通株式1株につき普通株式5株の割合で、また2021年3月12日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	98,637	116,116
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	98,637	116,116
普通株式の期中平均株式数(株)	2,706,350	2,790,418
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	48,960
(うち新株予約権(株))	－	48,960
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権8種類(新株予約権の数113,920個)	新株予約権2種類(新株予約権の数129,278個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。